

卒業論文 予定目次構成－改訂版
仮題名 日本型雇用の下で賃金は上昇するのか

1. 序章
2. 日本の雇用と欧米の雇用の違い
 - 日本型(メンバーシップ型)雇用について
 - 年功序列
 - 終身雇用
 - 企業別労働組合
 - 日本型雇用の傾向
 - 非正規の増加
 - 賃金横ばい
 - 男女の違い
性別によるキャリアコースの固定化
 - ワーク・ライフ・バランスの偏り
 - ジョブ型雇用について
 - 職務を特定
 - 賃金は職務により決定
 - 同一労働同一賃金
 - 産業別労働組合
 - 職業訓練
3. 賃上げの必要性和産業別労働組合が存在することの重要性
 - 賃金横ばいの要因
 - 人手不足なのに賃金は横ばい
 - 日本の労使関係
賃上げ圧力が弱い
 - 産業保護政策 ?
企業の生産性が低くても存続
 - 物価上昇(サービス分野)が消滅
 - 国内市場縮小
 - 賃上げが必要な理由
 - 個人の視点
消費活動の元手 将来設計の基礎
 - 企業の視点
生産性向上の条件 常に変化を続け企業として生き残る
 - 政府の視点
社会保障制度の持続 財政危機の回避

- 労働組合とは
 - 労働組合の成り立ちと目的及び機能
 - 産業別労働組合の重要度

4. 日本の賃金が上昇するためのヒント

- スウェーデンの取り組み
 - 産業高度化***
 - 連带的賃金政策
国レベルで労働者の賃金格差を小さくする
 - 職業訓練 職業紹介
 - 適切な政策評価からの修正
 - 社会保障制度
現役世代への支出
- 国内の産業別労働組合への挑戦
 - 関西生コンクリート運搬者
 - ユニオニズムの機能と方法
共通規則 集合取引
 - 日本の特殊性を考慮
産業構造の改革

5. 結論